



| | 求める生徒の姿 | 教師の姿 | 人権尊重の視点に立った授業づくりのポイント |
|----------------|---|---|--|
| つかむ | 1 学習課題をつかむ ・自分たちで課題を見つける ・課題を把握し、意欲をもつ（不思議だ、知りたい、考えたい、学びたい） ・学習の見通しをもつ | 1 課題提示 ㉞【課題意識を持たせる】 ●課題の設定の工夫 ・ねらいに迫るための課題 ・何をすればよいかわかりやすい課題 ・必然性があり生徒の興味関心を高める課題 ・生徒自らが考えた課題 ●課題提示の工夫 | ①自己存在感 ・生徒の既習事項や興味・関心等を把握し、様々な視点から解決できるように課題設定の工夫を行う。 ③自己決定の場 ・生徒自ら課題を見つけ、見通しをもち、思考・表現できるようにする。 |
| | 2 自分の考えをもつ ・既習事項や資料等を使って自分の考えをもつ ・考えを表現する | 2 自分の考えをもつ場の設定 ・考える視点を明確にする ・個人思考の時間を確保する ・考えをもてない生徒への手立てを準備する ・言葉や図、絵など教科の特性を生かして、自分の考えを表現する活動を取り入れる | ①自己存在感 ・個に応じた改善方法等を示し、教師自身が生徒一人一人を大切にしている姿勢を示す。 ③自己決定の場 ・生徒の実態や学習内容に応じた学習方法を提示し、選択の幅を与える。 |
| ふかめる（個別↓協働↓個別） | 3 考えを伝え合い、深める 自分の考えを伝える ↓ 根拠を明確にして話す ↓ 自分の考えと比較しながら他者の考えを聴く ↓ 他者の考えを生かして自己の学びを深める | 3 思考を広げ、深める学び合い ㉟【わになって学び合い、深める】 ・考えさせる視点を明確にする ・活動の目的に応じて有効且つ必然性がある学習形態を活用する。 ・問い返しや切り返しの発問を用意しておく ・「自分の考えと比べて聴く」「関連付けて話す」の方法を指導する ※教師の説明ではなく生徒の活動で課題解決に迫れるようにする | ①自己存在感 ・互いの発言を最後まで聴いたり、相手の話に反応しながら聴いたりする習慣を身に付けさせる。 ②共感的人間関係 ・自分の考えとは異なる意見も認め、理解する態度を育てる。 ③自己決定の場 ・生徒の実態や学習内容に応じた学習形態や活動の場を提示し、選択の幅を与える。 |
| | 4 まとめる ・自分の言葉でまとめる ・今日学んだことがわかる | 4 まとめ ㊀【今日の学びをまとめる】 ●課題とまとめの整合性の意識 ・ねらいの達成に必要な言葉を引き出し、生徒の言葉でまとめる ・生徒が「わかった」「できた」と実感できるまとめをする ※まとめは生徒全員が同じ内容になるようにする | ③自己決定の場 ・生徒の実態や学習内容に応じた学習成果のまとめ方を多様に提示し、選択の幅を与える。 |
| まとめる | 5 振り返る ・「できた」を実感する ・新たな課題に気づく | 5 振り返り ㊁【確かめよう。できるかな？】 ・振り返りの視点を明確にし、振り返りの内容を充実させる ・練習問題で定着を図る。 ※振り返りは生徒それぞれが自分の学びや変容に対して表す | ③自己決定の場 ・自他の学習課題や解決方法、学習の仕方やまとめ方等を振り返って交流する時間を設定し、他者の成果に学ぶとともに、今後の学習課題や方法について選択・決定できる場を工夫する。 |



